

令和7年度

パピーナ荻窪天沼保育園 すくわくプログラム

テーマ： かたち

活動 仲間分け

色、形で仲間分けをする

環境をデザインする

●準備した物 カード・台紙

探究活動を実践する

●活動内容

色、形で分けてみる

並べて比べる

●子どもたちの様子

「どんなカードがあるかな」と尋ねると、広げたカードを見て、それぞれの形や色を声に出して伝えていた。「仲間で分けてみよう」という声をきっかけに、「仲間ってなんだろう？」と相談したり、周囲を見回す子がいた一方で、色や形で分類を始める子や、「全部3枚ずつある」と、枚数の共通点に気づく子もいた。台紙に置く際に「赤の丸はどこに置く？」と尋ねると、「赤のお部屋と丸のお部屋のぶつかるところ」と言った子の姿をきっかけに、その場所にカードを置こうとする姿が見られ、「次もやっていい？」と、カードを手にする姿もあった。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

形と色別に表にしていこうという作業を行なった。講師の説明を聞いていく中で、それぞれの絵カードに書かれているものが、色や形の特長がある事に気付いていった。気付く事はできても、表にして並べるという作業では理解するまで苦戦する姿もあった。色を揃えたり形を揃えたりすることはできても、その二つを同時に考える事に慣れるまでは個々での配慮が必要な場面も多かったが、理解し始めると作業のスピードも上がっていった。自分の力でやり遂げた時には達成感を味わう事ができたようだった。

講師より

特徴を言葉にして共有したり、数の視点から仲間を見いだそうとする姿がみられた。「ぶつかるところ」という子どもの気づきをきっかけに、分類の考えが広がり、整然と並べ終えた時には「できた」と声にする姿もあった。今後も多様な視点から分類を考える関わりを大切にしていきたい。

令和7年度

パピーナ荻窪天沼保育園 すくわくプログラム

テーマ： かず

活動 数の比較

数の比較をして「同じ」「多い」「少ない」など比較を表す言葉の意味を理解する

環境をデザインする

- 準備した物 タイル

活動スケジュール

5歳児クラス

日にち	令和7年6月17日
時 間	45 分
参加人数	21 人

探究活動を実践する

●活動内容

数の並べ方を考える

●子どもたちの様子

「赤と青、どちらが多い？いくつ多いかな？」と問いかけ、ホワイトボードに貼られた赤と青のカード（差は3枚）を実際に動かしながら考えた。カードの端がそろっているのをみて、「2個多い」と声があがった。さらに考えてもらうと、一枚一枚ぴったりとくっつけて並べる姿が見られ、「はみ出た部分を数えたら3個」「2個じゃなかった！」と、実際の差に気づく姿があった。並べ方を変えたことで、「どちらが多いか」そして「いくつ多いか・少ないか」について考えようとする様子が見られた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

沢山の数の数え方の方法を知ることができ、バラバラになっている多くのタイルをどうやって数えるのかという問いに対して、目や指を使って何とか数えようとする姿が見られた。タイルを動かして分かりやすく数えてもいいという事を知ると横に並べて行っていた。4色のタイルになった時も全て横並べにすると、差を数えやすいことに気が付いていた。これをきっかけに今後も遊びの中で経験を積んでいけたらと思う。

講師より

カードの置き方に着目しながら、「どちらが多いか」「いくつ多いか」を考えようとする姿がみられた。ぴったりと並べると違いが明確になることに気づき、友達と考えを出し合いながら数の差を捉えていった。今後も子ども同士のやり取りを生かし、思考を深められるような問いかけを大切にしていきたい。

